

進路だより

札幌市立東白石中学校
第3学年 進路係
第75号
2024年11月8日発行

『夢をかなえるために……』

就職を考える (その3)

高校卒業後の進路について

[前号の続きです]

商業高校生は、諸検定で2級をめざせ

卒業後に就職するつもり商業高校生が考えなければならないのは、授業の中で学ぶことに満足してはいけないということです。たとえば、商業高校生は、簿記を習っています。3年生だったら、簿記の3級くらいは取れて当たり前。取れなかったら不勉強ということでしょう。それをもうちょっと頑張って、商工会議所の2級・1級を取ったら、企業だって歓迎します。さらに言えば、大学だって歓迎します。簿記の資格を持っていることが、推薦の条件になっている国公立大学だってあるくらいですから。そういう時代なのです。

ワープロ検定だって、商業科卒業生だったら3級は持っているのが当たり前でしょう。普通科と職業科はどこが違うのかというと、そういう実用的な資格を持っている、または、挑戦すればそれを取れるという勉強を、学校でやっているということなのです。だからまず、それをやらなければならないのです。やって当たり前なのです。学校で基礎をきちんと習っているのですから、それを取れないというのはやっぱり不勉強です。企業は、そういう不勉強を好みません。逆に検定の2級を持っているといたら、企業は歓迎します。パソコン検定・商業英語検定・硬筆書写検定……。2級を持っているということは、実用的な資格を持っているということ以上に、努力して自分を伸ばしていこうとする人だという、証拠でもあるのです。

企業で必要なのは、少しずつ工夫する人、自分の知識をもとにしてそれをさらに伸ばしていこうとする人、そのための努力を怠らない人です。企業が自分の企業を大きくするためには、従来やっていた仕事を守るだけではなく、もっと新しいアイデアを加えていかなければならないのです。だから実用的な知識・技能をただ持っているだけではやっていけません。それをどう使うかです。企業が高校生を見る目は厳しいのです。

農業高校生の進路は多様です

農業高校卒業生には農業経営者の子弟もいますが、それはごく少数で、大多数は山林・田畑を持たない家庭の子弟です。ですから、進路も必然的に多様になります。

農業の専門知識や技術をいっそう深めて農業後継者の道を選ぶ場合は、道府県が設置する公立の農業大学校が42校、私立の農業大学校が3校あります。一方、農業系大学はバイオテクノロジーの進歩によって人気が高まっており、特に農芸化学は難関と言われています。ただ、普通科の高校よりも広い推薦枠を持っている農業高校もありますから、1年生から進学を目標に努力すれば、十分に進学可能でしょう。

就職希望者の場合には、まず、公務員の技術職（農業土木・林業など）を考えることです。国家（一般職）・地方（初級・Ⅲ類など）ともになかなか難関ですが、高校で学んだことを生かすことができます。一般企業への就職もいろいろあります。園芸関係・種苗関係をはじめ、食品関係の企業などは農業高校出身者を欲しがっています。農業と関係のないように見える企業でも、現在の企業は多角経営を考えていますから、意外な企業から求人が来ることがあります。

ただ、農業とまったく関係のない職種を選ぶ場合には、その仕事が自分に適しているかどうかを慎重に考えなければなりません。そして、高校で学んだことを生かせるように努力する気迫と、新しい勉強に挑戦しようという意欲が必要でしょう。

【参照：「進路指導の要点」 関根庄一 著】

説明会のお知らせ

◇札幌静修高校 第4回学校説明会

1. 実施日 11月23日（土）10：00～12：00
2. 場 所 札幌静修高校（中央区南16条西6丁目2-1）
3. 内 容 学校概要説明、科・コースの説明、個別相談（希望者のみ）など
4. その他 同じ日の11:00～12:00に、通信制の説明会も実施されます。時間帯が重なるため、両方に参加することはできません。
5. 申し込みについて

チラシや高校HPに掲載されるQRコードをスマホに読み込んで、直接高校へ申し込んでください（スマホは当日の受け付けでも使用します）。締め切りは明示されていませんが、定員に達すると締め切られるので、希望者は早めに申し込んでください。なお、通信制の説明会に参加する場合は、全日制とは別の申し込みが必要です。通信制のHPに掲載されるQRコードをスマホに読み込んで、申し込んでください。